

四季の風

■発行責任者／病院長 金岡 祐次
■編集／大垣市民病院広報・企画委員会



広報 第62号

●発行 平成30年4月1日●

理念

患者中心の医療・良質な医療の提供

放射線治療をしましょうといわれて、どんな思いがよぎるでしょうか？『放射線治療は手遅れの患者さんが受ける治療で私には関係ない』と思っていま
せんか？日本人の5割以上が、がんにかかります。そ
してそのうちの1/3以上が放射線治療を受け、その
割合は年々上がっており、他人事ではないのです。
実際に治療が始まりますと、他の診療科とはずい
ぶん違います。



診療部

専門医が教える家庭の医学

放射線治療のクエスチョン

放射線治療の「なぜ」？

- Q1 何度もCTを撮影したのにまた撮影、なぜ？
- Q2 日によって医療費が違う、なぜ？
- Q3 治療時間の予約ができない、なぜ？
- Q4 先に受付したのに治療は後、なぜ？
- Q5 毎日治療する、なぜ？
- Q6 治療までに待たされる、なぜ？
- Q7 人によって治療回数が違う、なぜ？

簡単にお答えします。

A1 (Q1・2) 体厚、治療部位の深さ、照射方法が変わると投与する放射線の量が変わりますので再計算が必要です。何度でもCTを取らせていただきます。その都度治療計画を立て直していますので、医療費も変わります。

A2 (Q3・4) 照射方法によって治療時間が変わります。通常10分で照射野変更の際は確認業務が必要となり、さらに時間がかかります。照射期間中に必要に応じ突然変更することもあり、治療時間の予約は困難です。照射の精度を高め障害を減らすため【固定具】を使います。固定具は照射台に接続するため交換、固定に時間がかかります。このため同じ部位の照射の患者さんをまとめており、治療は前後します。

A3 (Q5) 簡単に言えば正常組織の障害を減らし放射線の効果を高めるためなのです。細胞の再酸素化、修復、そして線エネルギー付与などという頭の痛くなる話が説明のためには必要です。

A4 (Q6・7) 疾患によって照射線量、分割回数が違うのですが現在の通常の放射線治療に加えて、SRT、SRS、SBRT、IMRT、IGRTといった特殊な治療が可能となっています。これら特殊治療には線量計画に加えて、線量と分布の確認作業が必要です。概ね、一照射計画当たり30時間程度が必要とされています。当院では省略することなく、丁寧にかつ良心的に行っています。遅くなるのはそのためです。ご理解とご協力をお願いします。



放射線治療科 小林 英敏

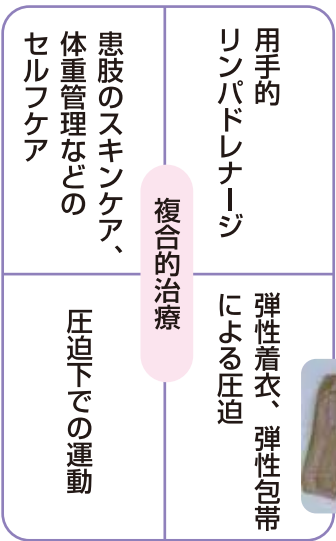
看護部

リンパ浮腫外来について

リンパ浮腫とは

リンパ浮腫とは、リンパの流れが悪くなり、組織のすきまにたまって身体の一部が腫れてしまう疾患です。原因はいろいろありますが、その多くは乳がんや婦人科・泌尿器科系のがんの治療に伴うリンパ節郭清や放射線治療が引き金となつて発症します。リンパ浮腫は発症すると完治が難しく、悪化しないように予防していくことが重要となります。おもな症状はむくみやだるさ、疲れやすさ、皮膚の乾燥や硬化などがあります。

リンパ浮腫の治療



リンパ浮腫外来のご案内

婦人科医師が診察を担当します。当院で子宮がん、卵巣がんなど婦人科がんの治療を行い、下肢リンパ浮腫を発症した患者さんが対象です。毎週月曜日、14時から予約制となります。医師の診察後、看護師、理学療法士がケアを行います。



婦人科外来看護師

伊藤 朋子

看護部の理念

安心と満足につながる
温かな看護の提供



ケアの内容

*日常生活指導（スキンケア、感染予防など）
特に蜂窩織炎という炎症の予防に努める必要があります。

*弾性着衣による圧迫療法
下肢の周径を測定して適切な弾性着衣の選択と着用指導を行います。

*セルフリンパドレナージ法の指導
DVDをみていただき、指導を行います。

リンパ浮腫の予防・治療は患者さんご自身の努力が大切です。正しいリンパ浮腫の知識を持ち、予防法や治療法を理解していただき、セルフケアが継続できるようお手伝いをしていきます。



薬剤部

抗がん剤の副作用と 支持療法薬

抗がん剤とは、「がん」の増殖を抑える薬であり、作用の仕方、作用する部位などによって、いろいろな種類の薬があります。抗がん剤の特徴として、ほとんど分裂して増殖するがん細胞に作用します。しかし、正常な細胞でも分裂速度の速い血液細胞、胃腸粘膜、毛根細胞などが影響を受け副作用が現れます。

抗がん剤の副作用には自覚症状（脱毛、口内炎、吐き気など）があるものと検査項目（白血球減少、貧血、血小板減少など）でわかるものがあり、発現時期や程度も患者さんごとによって様々です。そこで、あらかじめ予想される副作用を知り、対策を立てておけば、予防したり、症状を軽くしたりすることもできます。また、副作用が現れても早く適切に対処することにより症状が重くなるのを防ぐことができます。このように、がんに伴う症状や治療による副作用を軽減する目的で行われる予防策や治療のことを支持療法といえます。

支持療法で用いられる薬剤の例としては吐き気を軽減する制吐薬があり、抗がん剤治療の支持療法薬として最も広く用いられています。抗がん剤による吐き気のメカニズムは、脳の延髄にある嘔吐中枢と呼ばれるところが、抗がん剤によって刺激される

ことで起きます。そのため、その刺激を抑える働きのあるお薬が制吐薬として用いられています。また、吐き気といっても投与後24時間以内に発現するもの（急性）もあれば、投与後24時間以降に発現して数日間持続するもの（遅発性）、さらには抗がん剤を投与する前に発現するもの（予測性）と様々です。精神的な不安からくる予測性の吐き気には抗不安薬などがある有効な時もあるため、患者さんごとの症状に合わせて制吐薬を使用することでも重要です。このようなことを考慮して、当院ではガイドラインに沿って点滴および内服の制吐薬を組み合わせて、最良の吐き気止めの対策を実施しています。有効な薬の登場により、吐き気は以前に比べて格段に抑えられるようになりまし

た。抗がん剤の副作用について知り、あらかじめ対策を立て、さらに副作用が発現した際に早期に対処することで、安心・安全な治療の継続に繋がります。

ご不明な点は薬剤部までお問い合わせください。

制吐薬の種類	代表的な当院採用薬（商品名）	
	注射薬	内服薬
副腎皮質ホルモン薬	デキサート	デカドロン など
5-HT ₃ 受容体拮抗薬	グラニセトロン、アロキシ	グラニセトロン
NK-1受容体拮抗薬	プロイメンド	イメンド
ドパミン受容体拮抗薬	プリンペラン	ナウゼリン、プリンペラン
その他（抗不安薬）		ロラゼパム、コンスタン など

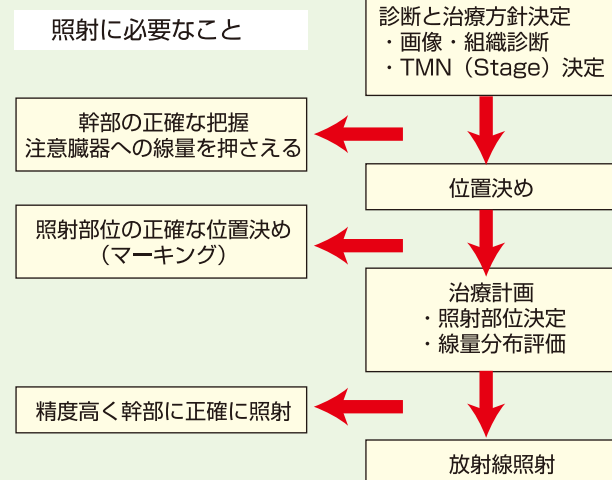
放射線ががんが治った最初の報告は今から約100年前です。ちょうど麻酔を用いる近代外科の夜明けと一致しています。長い間、どうして放射線ががんが治るのかわかりませんでした。今でも完全にはわかってはいません。がん細胞は他の細胞に比べて放射線の感受性が高いという専門家がいます。本当です。でも完璧な説明にはなっていない。理由がわかるためには放射線治療の専門家になる必要があります。若者たちには是非研鑽をつんで後を継いでほしいと思っています。ともかくひと筋縄ではないのが放射線治療です。

放射線治療の手順について説明します。

診療科から放射線治療の紹介をうけたら、まず受付に来てください。すべてはここから始まります。放射線治療では病変の病理、部位、範囲、照射の目的が重要です。これらを勘案して、照射線量、照射方法、照射部位の説明が医師からあります。通常の診療科とは違ってこれが放射線治療科の診察です。治療計画のための検査、線量確認および線量分布確認に必要な期間、そして照射の開始予定ならびに照射日時を受付で確認してください。患者さんごとにスケジュールが違いますので確認してください。装置の安全確認と線量および分布の確認のために医学物理士、診療放射線技師スタッフは毎日、毎週、毎月、毎年と決められた手順で装置の安全確認を行います。そして治療計画ごとに線量確認、線量分



■放射線治療の流れ



布確認、そして動作確認を繰り返しています。治療するための準備には多くの時間が必要で、予定は簡単には変更できません。毎日の照射を担当するのは、放射線治療専門技師です。固定具、マークなどの問題は遠慮なくお尋ねください。

治療が進行していくと色々な障害、問題が生じます。障害によっては線量に影響することもありますので、看護師が相談に乗ります。遠慮なく声を掛けてください。治療スケジュールに関するご要望は受付スタッフにどうぞ。当然のことですが、放射線治療に関するすべての責任は治療医師にあります。放射線治療に関する不安、ご質問、ご要望、そしてご叱責は小林までお願いします。

医師、看護師、診療放射線技師、医学物理士、放射線治療専門技師、受付スタッフ、ソーシャルワーカー、栄養士、理学療法士、薬剤師そして患者さんは放射線治療スタッフの一員です。『がん』という難病を克服するためには患者さんの『積極的な』協力がが必要です。患者さんの協力のもと安心・安全の放射線治療に努力していきます。

医療技術部

医療工学センターの役割

医療工学センター 臨床工学技士

今日の医療現場では、日々進歩してい

く医療技術に合わせて、使われる医療機器もより高度に、より多機能に、そして複雑になっています。そんな医療機器をたくさん使っている病院では、機械の扱いをよく知り、トラブル等が発生したときはすぐに対応していく必要があります。医療工学センターでは、在籍している22名の臨床工学技士によって機器の操作を行い、ほかの医療スタッフと共に治療に従事しています。また、定期的に機器の保守・点検を行うことによって医療機器の安全性を確保し、より良質な医療を提供できるよう業務にあたっています。

私たち臨床工学技士は、医師の指示のもと生命維持管理装置を扱うことを業務としています。生命維持管理装置とは、人の呼吸や循環などの生命維持に関する機能を代わりに行う機械のことです。主に、肺のはたらきが悪くなったり、全身麻酔中など、呼吸の代行が必要な時に使用する人工呼吸器。心臓の動きを止めなくてはならない手術で、全身に血液を送

る人工心

肺装置。
心臓のリ
ズムを整
えるペー
スメー
カーや
ICD。
腎臓や肝
臓のはた
らきが悪



くなったときなどに、体内の老廃物や余分な水分、薬物、感染症を除去し、血液をきれいにする血液浄化などがあります。生命維持管理装置だけでなく、病棟で使う点滴用のポンプや患者さんの状態を見るためのモニターなど、病院内のあらゆる医療機器について私たちが関わっています。

手術で使う各診療科の専門的な機器の準備や操作、保守・点検を行う手術室業務や、心筋梗塞や不整脈の治療に使う機器の操作、ペースメーカー埋め込みなどを行う心臓カテーテル検査室業務など、私たちが求められている役割は大きくなっています。

医療技術が進歩し続けている現代で、医療機器の専門家として患者さんがより安全、より良質な医療が受けられるよう日々の業務に努めています。



非常事態対応訓練を初めて実施しました!!

防災・防犯対策委員会



当院では1月31日に、防災・防犯対策委員会が中心となり、防犯意識と不審者対応技術の向上を目的とした「非常事態対応訓練」を、大垣警察署、公益財団法人日本防災通信協会と連携して、初めて実施しました。当日は、予想を上回る70人以上の職員が訓練に参加し、職員の防犯意識の高さが確認できました。

訓練では、まず、「110番非常通報装置」の使い方や、他の来院者の方に危害が及ばないように「さすまた」で牽制しながら不審者を遠ざける方法を学び、その後、大垣警察署の方が犯人役となって、院内の不審者対応事案を想定した模擬訓練を行いました。さすまたを手に真剣に取り組む職員と、犯人役の迫真の演技により、非常に臨場感のある有意義な模擬訓練を行うことができました。また、複数の新聞社から取材も受け、新聞に大きく取り上げていただき、当院の防犯対策をPRすることができました。

今後も、防災・防犯対策委員会では、安心・安全な院内環境を保つため、防災・防犯対策を進めてまいります。



お知らせ

糖尿病公開講演会

演 題：「NHKスペシャルでも話題に!
食後の血糖値スパイクに注意」
糖尿病・腎臓内科 医長 藤谷 淳

日 時：平成30年4月19日（木）
午後4時～午後5時

場 所：管理棟5階 講堂

問い合わせ先：糖尿病・腎臓内科 内線 2101



よろず相談・地域連携課出前講座

テ マ：「高額療養費制度
について知ろう!」
医療費が高額になる場合に備え、
高額療養費制度について制度内容や
申請方法などを説明します。

日 時：平成30年6月21日（木）
午後4時～午後5時

場 所：3病棟2階 デイルーム

問い合わせ先：よろず相談・地域連携課 内線 6179

※事前の予約は必要がなく、どなたでも無料で参加いただけます。多数のご参加をお待ちしております。

患者さんの権利と責任

1. 知る権利

患者さんは、病名、症状、検査内容、治療内容と危険性、薬の効果と副作用、予想される経過、回復の可能性などについて十分理解できるまで説明を受けることができます。ただし、必要に応じて医師の判断により、ご家族や代理の方に説明する場合があります。患者さんは、薬の治験に関する医療行為について事前に説明を受けることができます。患者さんは、提供される看護内容について説明を受けることができます。

患者さんは、治療に要する見込みの費用や、要した費用の明細について説明を受けることができます。

2. 自己決定の権利

患者さんは、十分な情報と医療従事者の助言を得た上で、自己の意思により、検査、治療、治験、看護その他の医療行為に同意、選択或いは拒否することができます。また、紹介状を請求して別の医療機関に替わることもできます。

3. プライバシーが保護される権利

患者さんには、個人の情報を医療従事者以外の第三者に開示されない権利があります。また、私的なことに干渉されない権利があります。

4. 参加と協力の責任

これらの権利を守り発展させるため、患者さんには医療従事者と力を合わせて医療に参加し、協力する責任があります。

大垣市民病院の基本方針

- ① 地域の基幹病院として、住民の健康と福祉の増進に貢献します。
- ② 患者さんの立場を第一に考え、公正且つ普遍的な医療の提供に努めます。
- ③ 医療安全を推進し、安心で安全な医療の提供に努めます。
- ④ 医学の進歩に沿って病院施設・医療機器の整備や充実を図り、専門的な医療の提供に努めます。
- ⑤ 公共性と経済性を両立し、健全な病院経営に努めます。
- ⑥ 地域の医療機関との連携を保ちつつ、患者さんに信頼される医療活動に努めます。

大垣市民病院臨床研修の理念

- ◎社会人としての規律を守り、医師として思いやりのある人格を涵養する。
- ◎プライマリ・ケアに必要な幅広い診療能力を修得する。
- ◎チーム医療の一員として、安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践する。

当院は、臨床研修病院に指定されており、次世代の医師育成のため、上級医の指導のもと研修医の臨床研修及び学生の臨床実習を行っています。

当院で一緒に働きませんか?

病院職員 随時募集中



大垣市民病院では、次のとおり職員を募集しています。
○応募職種／正職員：医師、看護師等
臨時職員：看護師、技師、医療補助員等
※詳しくは当院ホームページをご覧ください。

大垣市民病院 採用 検索

○問い合わせ先／事務局庶務課 人事グループ 内線：6133

編集後記

「四季の風」62号をお届けしました。次回は7月1日に発行予定です。「四季の風」では、今後とも多くの皆さまの声をお聞きしながら、読みやすい紙面づくりを目指してまいります。ご意見ご要望がございましたらお気軽にお寄せください。

大垣市民病院広報企画委員会
〒503-8502 大垣市南瀬町4丁目86番地
TEL(0584)81-3341 FAX(0584)75-5715
<http://www.ogaki-mh.jp/>
(電話でのお問い合わせについては、お間違いのないようお願いいたします)